

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



あみださまは
どこにいるの？

先月も「あみださま」について少し書きました。

『仏説無量寿経』に「この娑婆世界から西のかなた十萬億の国土を過ぎたところに浄土を建立し、阿彌陀仏となられた。それは今からおよそ十劫の昔のことであり、今現に阿彌陀仏は、西方の浄土で衆生救済の活動を続けられている」と説かれています。このまま読むと、むかし昔から遠い遠い西方浄土においてになることとなりますが、現代で客観的に考えるとあり得ないことですね。ここでは歴史的な事実というより、「あみださま」がどのような仏さまであり、どのようなおはたらきをしてくださるのかということが大切です。私たちの認識を超えた「さとり」そのものが、悟りに背き迷いの中にあるものを導くため、あえて具体的な形あるものとして現れ出てくださったのであるといたしましょう。

私という自己中心的な本質は、私だけでは見えてきません。あみださま《さとり》によって、私《嘘偽り》が見えてきます。それは「今日は晴れている」と言えるのは雨降りを知っていることで認識できるように、《嘘偽り》が《嘘偽り》であるとわかるのは、《さとり》に出遇っているからです。あみださま《さとり》という真実が私とともにいてくださるから、お友だちと喧嘩をしたら「ごめんなさい」と素直に言えるし、「ありがとう」と言える自分にお育ていただくことができるんですね。

『幼児のおつとめ』の奉讃文で「みほとけさま！ いつでもどこでもそばにいてくださってありがとうございます」と唱えますね。私はすぐにあみださまのことを忘れてしまうから、あみださまは私に見えるところに立っていてくださいます。私が忘れていても、いつでもどこでも私とともにいてくださるのが、あみださまです。